

<主な人口属性及び指標について>

人口…常住人口と呼ばれ、届出の有無に関係なく、3か月以上にわたって常住している人口として把握される。

人口性比…男性人口÷女性人口×100。女性100人に対する男性の数で、地域人口の男女のバランスを示す。

年齢3区分別割合…各年齢階級別人口÷人口総数×100。0～14歳が年少人口、15～64歳が従属人口、65歳以上が老年人口と呼ばれ、特に65歳以上人口の割合は「高齢化率」と呼ばれ、多用される。

年齢構造指数…年齢構成の特徴をみるための指数。中でも年少人口指数と老年人口指数の和である「従属人口指数」は、人口の扶養負担度を示す指標として有用される。

①**年少人口指数**=0～14歳人口÷15～64歳人口×100

②**老年人口指数**=65歳以上人口÷15～64歳人口×100

③**従属人口指数**=(0～14歳人口+65歳以上人口)÷15～64歳人口×100

④**老年化指数**=65歳以上人口÷0～14歳人口×100

平均年齢…年齢(各歳)×各歳別人口÷総人口+0.5

労働力人口…就業者と完全失業者を合わせたもの。

就業者…調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした人。

労働力率…労働力人口÷15歳以上人口×100。15歳以上人口のうちどの程度が経済活動に参加しているかを把握するための指標。

※)第2次集計で公表している労働力率には分母から労働力状態「不詳」が除かれているが、町別の労働力状態「不詳」人口が集計されていないため、分母に15歳以上人口をそのまま用いている。このため、第2次集計で公表している労働力率と数値が異なる。

産業(大分類)別就業者…地域の産業上の特徴を把握するための指標。

①**第1次産業就業者**:〔農業+林業+漁業〕就業者数

②**第2次産業就業者**:〔鉱業+建設業+製造業〕就業者数

③**第3次産業就業者**:〔電気・ガス・熱供給・水道業+情報通信業+運輸業+卸売・小売業+金融・保険業+不動産業+飲食店、宿泊業+医療、福祉+教育、学習支援業+複合サービス業+サービス業(他に分類されないもの)+公務(他に分類されないもの)〕就業者数

職業(大分類)別就業者…地域の社会経済的な特徴を把握するための指標。

①**農林漁業関係職業**:農林漁業作業員数

②**生産・運輸関係職業**:〔生産工程・労務作業員+運輸・通信従事者数〕

③**販売・サービス関係職業**:〔販売・サービス+保安職業従事者数〕

④**事務・技術・管理関係職業**:〔専門的・技術的職業+管理的職業+事務従事者数〕

一般世帯…世帯のうち、施設等の世帯以外で、次のものをいう。

①住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者

②上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者。

③会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者。

主世帯…一般世帯から間借りを除いたもの。

1世帯当たり人員…1世帯当たりの平均世帯規模。地域の社会構造を知るための指標。

核家族世帯率…核家族世帯数÷一般世帯数×100。核家族世帯とは、夫婦のみの世帯又は夫婦(親)とその子どもから成る世帯で、地域の核家族化を測るための指標。

単身世帯率…単身世帯数÷一般世帯数×100。地域の単身世帯化を測るための指標。

高齢単身世帯…65歳以上の者1人のみの一般世帯。

3世代世帯…世帯主との続き柄が、祖父母、世帯主の父母(又は世帯主の配偶者の父母)、世帯主(又は世帯主の配偶者)、子(又は子の配偶者)及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯をいい、それ以外の世帯員がいるか否かは問わない。したがって、4世代以上が住んでいる場合も含まれる。また、世帯主の父母、世帯主、孫のように、子(中間の世代)がいない場合も含まれる。一方、叔父、世帯主、子のように傍系の3世代世帯は含まれない。

持ち家率…持ち家に住む世帯数÷住宅に住む一般世帯数×100。